

2013年4月22日

九段小学校・幼稚園施設整備検討協議会
会長 田中康博 様
委員の皆様

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)
関東甲信越支部 支部長 上浪 寛
同 保存問題委員会 委員長 安達 文宏
同 千代田地域会 代表 赤堀 忍

「千代田区立九段小学校・幼稚園校舎施設のプロポーザル実施に関する要望書」
提出のご報告

拝啓 「九段小学校・幼稚園施設整備検討協議会」での諸検討・議論においては、協議会員の皆様、九段小学校の既存校舎への愛着と、これから育っていく子どもたちへの深い愛情を強く印象付けられました。皆様に心より敬意を表します。

さて、区立九段小学校・幼稚園校舎の施設整備については、千代田区教育委員会より、今年度、基本設計者の選定をプロポーザル方式で行うとの説明がありました。

当協会は、既存校舎を最大限に保存・活用しつつも、既存部分の改修の工夫と新設部分により、安全・快適で、最新の教育環境の要求に合った設計をすることは、十分可能と考えております。

その立場から、プロポーザルにおいては、このような提案までも含めた、広い枠組みで実施すること、および、学校建築・耐震構造の専門家、小学校教育・幼児教育の専門家の参加する、公平で質の高い審査を行うことが望ましいと考え、千代田区長、同 教育委員会委員長、同 教育長に「千代田区立九段小学校・幼稚園校舎施設のプロポーザル実施に関する要望書」を提出いたしました。

九段小学校・幼稚園施設整備検討協議会の委員の皆様には、ここに「要望書」の写しを添付して、提出のご報告を申し上げますとともに、協議会の審議の進展と、委員各位のご健勝を、心よりお祈り申し上げます。

なお、公益社団法人日本建築家協会は、今後も、九段小学校・幼稚園校舎施設の保存・活用をふくむ整備計画に関して、出来る限りの協力をさせて頂く所存である事をお伝えしたいと存じます。

敬具